

第 50 回脳神経発達統御学セミナー

教職員、大学院生など多くの方々の参加を歓迎いたします。

記

日 時 7 月 29 日（火） 17 : 00～18 : 00

場 所 : 大学院セミナー室(臨床研究 A 棟 8 階)

認知症・神経変性疾患における分子マーカーの最近の進歩

池田 将樹 先生

群馬大学医学部附属病院 神経内科 講師

アルツハイマー病をはじめとした認知症患者数は本邦において年々増加し、既に超高齢化社会に突入し、大きな社会問題を引き起こしている。認知症には早期治療が望まれているが、そのためには早期診断の必要があり、分子マーカーを用いた診断技術が開発されてきた。認知症の診断については、多くの分子マーカーが開発されてきているが、現在、アルツハイマー病の診断として信頼しうる分子マーカーは髄液の A β 1-42 と tau（総タウ、リン酸化タウ）である。また分子機能画像としてアミロイド PET（PiB-PET）の開発が進み、当院においても稼働しつつある。

髄液の A β 1-42 と tau（総タウ、リン酸化タウ）がアルツハイマー病の診断マーカーとして確立してきた経緯や今後期待しうる分子（遺伝子、蛋白）について報告する。また院内において稼働している PiB-PET についても自験例を交えて報告する。

本セミナーではアルツハイマー病の診断マーカーについて現況と今後の展開について報告するとともに、認知症を示す他の神経変性疾患の現況についても言及する。また今後の認知症診療への期待と問題点についても説明する。

連絡先 : 白尾 智明
神経薬理学分野 内線 (8052)

【各専攻分野事務担当者宛】

『**大学院カリキュラム認定のお知らせ**』 上記セミナー等は、大学院カリキュラムの講義一回分として医科学専攻教務委員会で承認予定です。出席する大学院生は単位認定カードを持参し、出席の確認(印鑑)を受けて下さい。(学務課大学院係)